



《特集》

手づくりのある暮らし

Handmade for Living

お気に入りの家具や雑貨、小物で描えたインテリアは、心が満たされ、居心地のよい暮らしを呼び込みます。

そこにちょっとした手づくりが加わると、なんだか愛情が深まって、より大切に感じられますよね。

アイデア次第で本当に欲しいものが作れるのもハンドメイドの魅力。

今回は、インテリアをおしゃれに楽しくする、手づくりのプチアイデアをお届けします。

撮影=堅山 哲 Satoshi Tateyama
撮影・文=中西 理恵 Ric Nakanishi

肌も心も潤う、天然素材でつくるハンドメイドソープ

リンバケアやアロマセラピー「ハンドメイドソープ」などを通じて、セルフケアの大切さを発信している金田さん。手づくり石鹼を作られているということでお聞きしてきました。

金田さんが作るのは、植物性オイルと苛性ソーダ、精製水を主原料とした「ハンドプロセス製法の石鹼」手づくり石鹼の出会いは、自然由来の材料で作れることへの興味に加え、何よりもその「デザイン」の可愛さだったそう。「肌にも優しく、綺麗になれなんだったら作ってみたい!」と思いました。でも、いざ作り方を調べてみると、製法だけではなく、安全に対しても知識が必要なことが分かり、熊本で石鹼マイスター講座を受講することにしました。講座では、手づくり石鹼がなぜ肌に良いのかや、「どのように作れば、求めている効果を持つ石鹼を作れるのかな、本やインターネットからだけでは得られない経験を学ぶことができた」と言います。「ナチュラルな素材で作る石鹼の泡は、かわわ柔らかく、じっとりとお肌を洗い上げてくれます。そしてとにかく、石鹼づくりって楽しいんですね!」。その感動をもう一人伝えたい、共有したいという思いから、折に触れて石鹼づくりのワークショップを開いている。「洗面所に自分でつくった石鹼が置いてあるだけで、何だか気分が上がります。自分がリラックスできる空間づくりをしていることは、より良く生きるために大切なもの。身体は食べたもので出来ていると言いますが、思考や感情は感じたもの、触れたもので出来ていると思うんです」。

手づくり石鹼の作り方は、いたってシンプル。オイルに苛性ソーダと精製水を混ぜ



ワックスペーパーで包むだけで、可愛いプレゼントに。



出来上がりを楽しみに、じっくりと約4週間熟成を待つ。



ひたすら混ぜます。苛性ソーダには気をつけて。いい石鹼にな~れ~。

ということで、石鹼づくりワークショップ開催します!

とても魅力的なハンドメイドの石鹼ですが、必要な原料の一つ「苛性ソーダ」は劇薬です。皮膚についたら激しい火傷となり、ほんの1滴でも目に入ると失明のおそれがあります。また使うオイルの種類によっては、肌荒れの原因になることもあります。初めての人には一度ワークショップなどに参加して基本を学んでから、自分なりに楽しむことをオススメします。そこで、9~10月頃、ヤマハハウスモデルハウスにて金田さんの手づくり石鹼ワークショップを開催します。詳細は後日、ホームページやFacebookなどで告知します。必ずお知らせを受け取りたい!という方は、巻末のハガキで案内をお申し込みください。※案内申し込みは、予約ではありません。※小学校高学年以上のみのご参加となります。

●金田 洋子さん / KANATA YOKO

自分創りナビゲーター。自宅サロンにて、自然治癒力を高め、より良く生きるためのカラダとココロのメンテナンスを行う。「セルフケアとは自分に触れること。自分という機能を使って、自分らしく生きること、本気の自分ケア、一緒にスタートさせませんか?」



オリーブオイルをはじめ、ココナッツオイルやアボカドオイル、レッドバームオイルなどを使って作ります。使うオイルの配合次第で、季節や自分に合った石鹼を作ることができます。またクレイや、アロマオイルで好きな香りをプラスすることもできます。あらかじめオイルに緑茶やハーブなどを漬けて成分を抽出することも。使う人の好みや季節、求める効果によって、思いのままに作れるところも手づくり石鹼の醍醐味です。

【その②】

玄関ディスプレイもチチカラで!

家の顔になる「玄関」は、ごちゃごちゃとした印象にならないようにしたいもの。

外出時に必要な小物はトレイにまとめて置いておくと便利です。

鍵が置いてあるトレイは、100均の器の縁を油性のマーカーで塗っただけ。

手前のトレイは、100均の器にらくやきマーカーでペイントし、

100均の動物フィギュアを油性マーカーで塗りつぶして接着剤で取り付けただけ。

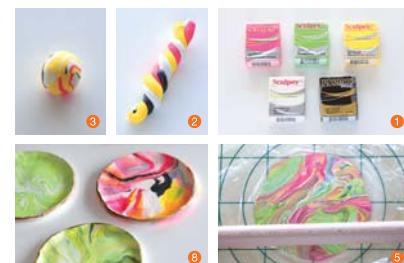
それぞれ可愛いトレイに大変身しました。(工作用の塗料や、ネイルボリッシュを使って塗ってもOK)



◀粘土にスタンプするだけでもおしゃれな小物に。



①材料／オーブン粘土(ここではSculpeyⅢという商品を使用しました)・鍼棒・下敷きなど粘土を伸ばす板・ラップ・金色の油性マーカーまたはネイルボリッシュ ②作りたいトレイの大きさに合わせて粘土を適量取り、ねじるようにして合わせます。 ③丸い玉にまとめて。 ④またねじって棒状に伸ばします。 ⑤丸くまとめてねじって伸ばすを何度も繰り返して好みのマーブル模様にし、好みの大きさに鍼棒で平らに伸ばします。この時、下敷きなどにくつついで割がにくくなるのを防ぐため、ラップで覆んでおけばします。 ⑥白い粘土で同じ大きさの丸を作って⑤の下に重ね合わせます。 ⑦瓶の口やカップケーキの抜き型などを使って型抜きするか、手で形を整えて、トレイの形をつくります。端が上に向くようにするのがポイント。 ⑧7をオーブンで焼いて硬化させたあと、周囲をマーキングマーカーやゴールドのネイルで線取って完成です。



【その③】
ポリマークレイで作る
ジュエリートレイ

オーブンで焼くと固くなるポリマークレイを使って、
おしゃれなジュエリートレイを作つてみましょう。
紙粘土や焼かない樹脂粘土などを使っても。

チチカラで手づくりを楽しもう!

【その①】

ペンで簡単!おしゃれな器

オリジナル食器が簡単に作れる、「らくやきマーカー」をはじめとした陶磁器用ペンをご存知ですか?

耐熱性の食器に、ペンで好きな絵や文字を描いて、オーブンで焼き付けるだけのお手軽さ。

100均ショップのシンプルなお皿も、アイデア次第で世界に一枚だけの楽しい食器に大変身!

おしゃれなカフェ風を目指すも良し。憧れのあの皿を真似るも良し。子どもと一緒に描いたら、思い出の一枚になりますね。

さあ、あなたなら何を描きますか?



《用意するもの》
 ●らくやきマーカー
 ●オーブン対応の食器(オーブン非対応でも急冷などに気をつけねば大丈夫な場合もありますが、利用は自己責任でお願いいたします。)

下絵をカーボン紙などでお皿に移し、ペンで着色します。(下絵なしでも、もちろんOK)

焼き付ける際には、水で濡したティッシュや綿棒などで消せるので、書き換しても安心。

230度に予熱したオーブンで約20分焼く、そのまま庫内で1時間以上徐々に冷ましたあがります。焼き付け後の色ムラが気になる場合は、重ね塗りをもう一度焼くと良いようです。

実は特別な筆を使わなくても、油性ペンで描きオーブンで焼き付けてもできます。予熱をせずに175度で約30分焼き付け、そのまま庫内で自然に温度が下がるまで待ちます。ただし、万が一インクが剥がれたら…気になる方は、食材を置くところや直접口を触れる部分を避けてデザインしてくださいね。

油性ペン「Sharpie」のマーキングを使ってペイント。小さな角皿は、スプーンレストにしました。



お皿に顔を描くだけで「いいしんぼうのプレート」に。



食べ物を置く部分を考え描くと、面白いお皿になりますよ。



●Muffins & Scones 'tico.'

「いつか手づくりマフィンのお店を開きたい」というオーナー姉妹の夢を実現させ、昨年12月原良のかけごん公園向かいにオープン。国産小麦粉、国産バター、アルミニウムフリーのベーキングパウダーなど、材料にもこだわった手づくりのマフィンとスコーンが、数種類ショーケースに並ぶ。焼き上がりの時間は種類によって違うので、Facebookをチェックみて。北欧風のインテリアが可愛い店内には、オーナー手づくりのフラワーアレンジメント、キャンドルなども。

住／鹿児島市原良4丁目24-1 営／金・土のみ営業 11:00~17:00

問／090-7166-4090-090-7158-3629 Facebook／Muffins & Scones 'tico.'

エコな手つくりを楽しもう!

今年も開催します!
Workshop & Event
「Kino Re monoを作ろう!」

【開催日】
8.27
Saturday

去年の開催で大好評だった木工教室イベント、「Kino Re mono Workshop」を今年も開催いたします。

鹿児島を拠点に活躍されている家具職人「aWe works」の外園さんにご指導をいただきながら、木の乗り物「Kino Re mono」を作ります。「Kino Re mono」の「Re」は、リユース・リサイクルの意味です。使う木材は家を建てたときに出る端材を再利用して作ります。

かき氷もご準備しますので、お祭り気分でワイワイものづくりを楽しみましょう!

夏の思い出づくりに、(ギリギリ間に合う夏休みの宿題にも!)ぜひ、お気軽にご参加ください。

詳しくは、ホームページで随时お知らせいたします。



aWe works(アウ ワークス)／外園 康隆さん

2012年より鹿児島市内に工房を構える。木と鉄を用いた家具づくりを中心に、住宅や店舗のオーダー・家具・建具の製作を行なうが、自らが家具職人を目指す原点となった「あんなものいいなでもたらいいなー」の想いをモチに、「楽しくなる日々の道具つくり」を「Happy tool」の名前で少しづつカタチにしている。「aWe」にはすばらしいという英語の意味と日本語の「あう」の意味を込めている。不定期でWorkshopを行なう、「ものづくりの素晴らしさ」や「木の良さ」を伝える活動に注力している。



【その①】簡単!おしゃれ!マクラメプランツハンガー

いま、植物は吊るして飾るのが大人気。

空間をうまく使えることもあって、

格段にインテリアがセンスアップ!

ぜひハンギングを取り入れて、

グリーンをおしゃれに楽しんでみませんか?

材料はすべて100均で揃う、

マクラメ編みのプランツハンガーの

作り方をご紹介します。

【材料】

●園芸用や手芸用のロープや紐

約3m×6本分、50cm×2本

●キーホルダー用などのリング

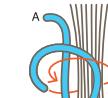
(使わなくなったバングルなどでも代用可)

●木工用ボンド

●鉢やガラスベース



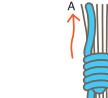
【図①】まとめ結び



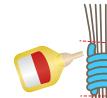
まとめたい紐に、別の紐を折って重ね、ぐるぐるときつめに巻きつける。



下の輪に紐の端Bを、上から下へ通す。

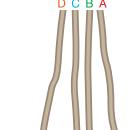


紐の端Aを上へ引っ張ってぎゅっと締め、結び目を巻きつけた部分に引き込む。



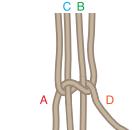
はみでた両端をはさみでカット。ほどけてこないよう両端を木工用ボンドで固めながら、結び目の中に入れ込む。

【図②】ねじり編み

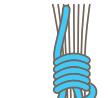


4本のロープを1セットに。

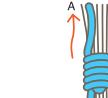
【図③】平編み



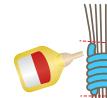
ねじり編みを1回行う。



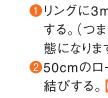
Aは矢印のように真ん中2本のBCの上を通し、Dの下にくぐらせて交差させる。



Dは矢印のようにBCの下をくぐらせて、Aの上を通って先端を右へ通す。



AとDの端は左右に、BCは下に引っ張りながら、結び目をきゅっと締める。



AとDの4本を使って、最後の編み目から約10cm下で平編みを1回する。

⑩ 残りの2セットも、1セット目と同様に編む。この時、編み目の高さができるだけ揃るようにします。

⑪ 2セットを取り、8本のうち自然に隣り合うロープを各セットから2本ずつ取る。

⑫ ⑨の4本を使って、最後の編み目から約10cm下で平編みを1回する。

⑬ 残りも同様に結び目を作る。

⑭ さらに5cm下ですべてのロープを1つに束ねて、50cmのロープを使って⑪同様まとめ結びをする。

⑮ ガラスベースや鉢植えなどをセットして完成!

デザインは編む回数や順番で変わるので、アレンジを楽しんでみて。